

平成28年度 地域ケアプラザ事業報告書

1 施設名

原宿地域ケアプラザ

2 事業報告

地域の現状と課題について

- ①現在、大正地区の総人口は約4万1000人でその約5%（2000人以上）の方が要介護認定を受け、さらにその半数の方が認知症等（診断無しも含む）の症状があるという調査結果も示されている。

原宿地域ケアプラザでの総合相談件数は、例年と変わらず年間延べ件数2500件前後で推移している。しかし対象者の属性に着目すると、対象者が認知症である相談件数は、平成25年度までは200件前後で推移していたものが、26年度以降は3年連続して300件台後半を超える状況となっている。高齢化による認知症患者数の増加もその一因と考えられるが、家族や地域住民の認知症に対する関心、困惑感が高まっていることが推測される。これに伴い、成年後見制度に関する相談件数も増加傾向を示している。

平成27年4月の介護保険制度の改正に伴い、平成28年1月から全国一律の予防給付（訪問介護・通所介護）を市町村が取り組む地域支援事業に段階的な移行が開始された。

大正地区でも要支援認定を受け、介護予防訪問介護・介護予防通所介護のサービスを利用している方々について新規、更新に伴い順次移行がなされた。大正地区で同上の介護予防サービスを利用されている方は、利用者の4割程度を占めているため、制度改正への理解を得るための説明と対応に努めた。また、今後、大正地区で増加すると思われる高齢者の単身、夫婦のみ世帯への生活支援を専門職だけで担うには限界があると考えられる。そのため、地域ケア会議等を活用したネットワークの構築を行うとともに、地域特性に応じた介護予防活動の場や生活支援体制づくりを住民の皆様や区役所と協働し努める事が今後の課題である。

- ②子どもから高齢者、障害のある人の既存の個別支援施策だけでは対応できない複合的な課題について、ハートプラン推進で構築してきた地域のネットワーク、子育て支援関係機関、障害児者支援関係機関、社会福祉法人、企業、大学等のネットワークをつなぎかえることで不登校児の支援、障害児の余暇活動の立ち上げ、ダブルケアなどの課題に対応してきた。多様化する課題について今後も柔軟に領域横断の支援を継続していく。

施設の適正な管理について

ア 施設の維持管理について

- ①基本協定書に基づき、業者委託により定期清掃、消防設備点検、機械警備設備点検、空調機器点検、自動扉点検、受水槽点検、給湯設備点検、電気設備点検、害虫駆除等を実施し、適正な管理保守点検業務に努めた。
- ②9月に横浜市建築保全公社から委託を受けた点検業者による建築基準法第12条の法令点検（建築設備点検）を実施した。報告書は点検業者から建築局へ提出され、点検結果を受けて二次的な対応が必要と判断されたものはなかった。
- ③区と協議の上、デイサービス障害者用トイレ・脱衣室トイレ換気扇交換、ヘルパールーム空調機器修理、多目的ホール外壁部分漏水修理、デイサービス厨房シンク排水トラップ交換、加圧給水ポンプ修理、多目的ホール・デイサービス廊下非常誘導灯バッテリー交換等を実施し、安全かつ快適な環境維持に努めた。
- ④ケアプラザを初めて利用する団体には、利用についての手引きを配布し、施設を快適・安全に利用できるよう配慮をした。
- ⑤備品類は、物品管理簿（Ⅰ種・Ⅱ種）、事業委託関連物品管理簿、固定資産物品台帳（法人）、物品管理シール等により適切な管理を行った。Ⅰ種物品管理簿の備品で使用不能となったものについては、区へ「物品返納等処理票」を提出し、物品管理簿から削除し廃棄処分とした上で、戸塚区へ最新の管理簿を提出した。
- ⑥植栽管理は、職員による日常的な除草及び施設周りの植栽・樹木等の剪定・刈込を行い、良好な景観を保持するよう努めた。

イ 効率的な運営への取組について

- ①ケアプラザ全部署職員による全体会や部署別の定例会議、朝夕の引継ぎ、社内メールの活用等により職員相互が必要な情報を共有し、協働体制で業務にあたった。また、部署ごとに毎月、目標の設定及び目標に対する達成度などについて検証し、効率的な運営をするべく業務に取り組んだ。
- ②地域で活動されている関係機関、関係者と連絡を取り合い、問題の早期発見・解決に取り組んだ。
- ③玄関ロビーに設置しているご意見箱及びホームページでの問い合わせメールや、部屋利用者の方に毎回意見等を記入できる用紙を渡して日常的に意見を求めるとともに、運営協議会の開催（6月・10月）、地域包括支援センターの公正・中立性の確保のためのアンケートの実施（11月）、利用者アンケートの実施（12月）、戸塚区地域ケアプラザ事業実績評価（3月区職員によるヒアリング）等により、関係者の意見を指定管理業務に反映させるよう努めた。

ウ 苦情受付体制について

- ①苦情を受けた際には、苦情対応マニュアルに従って、各担当者が誠意ある対応をし、問題解決に取り組んだ。
- ②11月に苦情解決第三者委員定例会議を開催し、アンケート結果や苦情・要望受付内容及び対応について3名の委員の方へ報告をし、ご意見を伺った。
- ③12月に利用者アンケートを実施し、苦情や要望への対策を検討・実行するとともに、アンケート結果・改善策について館内に掲示した。また、「相談・苦情への対応」、「ご意見ダイヤル」、「横浜市福祉調整委員会」等のチラシやポスターを掲示して、各種相談受付窓口の周知を行った。

エ 緊急時（防犯・防災・その他）の体制及び対応について

- ①夜間PM9：00まで開館している上、不特定多数の方々が常時出入りすることから、防犯マニュアルに基づいて日常的に防犯・安全に努めた。
- ②共同防火管理協議会合同防災訓練、横浜市内一斉被害状況報告訓練、特別避難場所開設訓練等を含め、防災訓練を計7回実施し、その他、防災マニュアル、特別避難場所開設マニュアルの見直しを行った。
- ③チェックリストにより職員が館内日常巡回や点検を行い、夜間閉館後は機械警備による警備で月次報告書にて報告を受けた。年間を通して防犯上の問題はなかった。
- ④特別避難場所応急備蓄物資について、備蓄状況の確認及び横浜市へ備蓄物資配付申請を行い、3月に白飯兼おかゆ、パン、水、紙おむつ（大人用）が追加配付された。
- ⑤緊急時の対応等について職員に周知徹底するため、職員会議にて事故対応マニュアル、感染症対策マニュアル等各種マニュアルの内容検討及び見直しを行った。また、緊急時の対応、感染症予防とまん延防止等についての職場研修を実施した。

オ 事故防止への取組について

- ①事故防止マニュアルを職員に周知するとともに、事故があった際には適切に対応し、その日のうちに内容、原因、今後の対策について話し合い、事故減少と再発防止に取り組んだ。
- ②職員全体会議において各部署より事故報告を行い、全職員の事故防止意識を高めるよう取り組んだ。
- ③事故記録やヒヤリハット記録をつけて部署別会議・委員会等でその内容を検証し具体的な解決策を検討・実行した。
- ④自動車事故防止のために狭い道路など要注意箇所を職員に周知するとともに、安全運転管理者により、運転者に対する安全教育を行った。
- ⑤事故防止（リスクマネジメント）についての職場研修を実施した。

カ 個人情報保護の体制及び取組について

- ①法人の「個人情報取扱規則」に基づき、個人情報及び文書等の管理体制について職員に周知し、入職時には全職員に「個人情報に関する誓約書」の提出を義務付け、更にボランティアや実習生についても「誓約書」を提出して頂いた。
- ②個人情報漏洩防止のため、FAXにて個人情報を取り扱う際の2名チェック、個人が特定できる情報の削除等具体的なルールについて職員に周知徹底するとともに、「個人情報漏洩防止チェックシート」による自己チェックを実施し、緊張感を持って個人情報を取り扱うよう意識付けを行った。
- ③「横浜市原宿地域ケアプラザの管理に関する年度協定書」に基づき、個人情報を取り扱う場合に従事者が遵守すべき事項並びに従事者が負うべき横浜市個人情報の保護に関する条例に基づく罰則の内容及び民事上の責任についての研修を実施し、「個人情報保護に関する誓約書」及び「研修実施報告書」を戸塚区に提出した。
- ④個人情報の流出を避けるため、すべてのパソコンにウイルス対策ソフトを導入

し、常に最新のデータベースを更新し、外部からの不正アクセスに対してセキュリティ対策を施した。

- ⑤すべてのパソコンについて、第三者が個人情報データを見ることができないよう各自がパスワードを設定するとともに、退勤時には、ノートパソコンは鍵付き書庫に収納し、デスクトップパソコンは専用チェーンを繋ぐ等の盗難防止対策を実施した。
- ⑥USB等外部媒体への個人情報の保存禁止を徹底した。

キ 情報公開への取組について

- ①広報紙「生き生き」を大正地区連合町内会を通して地域に回覧した他、近隣の幼稚園・保育園、小中学校、医療機関、地域ケアプラザ、子育て支援拠点等、関係機関への郵送を行うとともにホームページやフェイスブックの掲載を通してケアプラザや地域の取り組みについて周知を行った。フェイスブックを活用し迅速な情報交換や情報の入手、周知を行った。
- ②利用者アンケート結果や介護保険事業の運営規程等を館内掲示するとともに、事業報告書・計画書をパンフレットラックに置き、来館者が自由に閲覧できるようにした。
- ③介護保険事業については、11月に「介護サービス情報の公表」制度における調査票を提出し、12月に「神奈川県介護サービス情報公表システム」にて基本情報・運営情報が公表された。

ク 人権啓発への取組について

人権についての理解を深め、人権に対する正しい知識を身に着けるよう、こども・障がいのある人・高齢者の人権、男女共同参画、感染症、職業差別等の人権尊重について研修機会を設けた（7月）。

ケ 環境等への配慮及び取組について

- ①ごみの分別収集、パソコン等のデータ管理による紙の使用量減少、両面コピーやコピー用紙の裏紙使用、食品ロスを減らすこと等ヨコハマ3R夢プランの推進に向け、リデュース（発生抑制）・リユース（再使用）・リサイクル（再生利用）を中心にゴミ減量に取り組んだ。
- ②館内照明の間引きや待機電力OFF、使用していないエリアの消灯、冷暖房温度の適正な設定を継続して行った。なお、横浜市節電・省エネ対策基本方針に基づき電力削減目標（平成22年度比10%以上減）を達成すべく節電に取り組み、その結果、前年度を下回る使用量となり、平成22年度比で使用電力総量を約24%削減することができた。
- ③日常清掃・定期清掃による環境整備、節水・節電、車の使用を抑え電動自転車を積極的に活用すること等環境等への配慮を意識して取り組んだ。

介護保険事業

● 介護予防支援事業

《職員体制》

包括支援センター三職種 6名 介護予防プランナー 2名（内、兼務 1名）

《目標に対する取組状況》

要支援認定を受けた方が介護状態になることを予防する意義を理解し、目標を持って身体機能や生活を維持向上させていくことができるよう助言し支援をした。横浜市日常生活総合支援事業開始に伴い準備と説明、契約を利用者と事業者に対して行い混乱がないように対応した。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

なし

《その他（特徴的な取組、PR等）》

介護保険サービス以外にも、インフォーマルサービスや地域活動なども幅広く活用して、介護予防に取り組むことができるように利用者に助言し手配をした。年度の後半からは、深谷・俣野地域ケアプラザへの引き継ぎも考慮しながら対応をした。

《利用者実績（単位：人）》

4月	5月	6月	7月	8月	9月
279	284	286	282	291	293
10月	11月	12月	1月	2月	3月
297	298	303	308	311	309

● 居宅介護支援事業

《職員体制》

居宅介護支援事業所管理者常勤兼務 1 名
 介護支援専門員常勤 3 名（うち常勤兼務 1 名）

《目標》

地域で生活する利用者の皆様が、その人らしく自立した生活を送ることができるよう、家族や地域の方々、介護・医療・福祉の各関係機関と連絡・協力体制を密にしてケアプランを立案し支援を行った。今年度は職員の異動に伴い新しく職員が入職したが、ケースの引き継ぎ等滞りなく行うことができた。横浜市介護予防・日常生活支援総合事業については積極的に研修に参加し、部署内で共通認識する場を設け、利用者に丁寧に説明することができた。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

居宅介護支援については、利用者負担はなし。また実施地域を超えての訪問等はなく、旅費の負担もなし。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

家庭状況、病状、認知症等の様々な問題への対応に困難なケースについては、区役所、地域包括支援センターおよび関係機関と連携しながら対応した。

《利用者実績》

※（ ）内は介護予防プラン受託件数

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
100 (15)	94 (15)	92 (15)	89 (15)	89 (16)	87 (16)
10月	11月	12月	1月	2月	3月
96 (17)	95 (16)	90 (15)	85 (15)	87 (15)	88 (14)

● 通所介護事業

《提供するサービス内容》

- 送迎・健康チェック・入浴・昼食
- 趣味活動・娯楽・体操・ミニレクリエーション・外出機能訓練

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

● 1割負担分

（要介護1）	704	円
（要介護2）	831	円
（要介護3）	963	円
（要介護4）	1,095	円
（要介護5）	1,227	円

- 食費負担 700 円

- 入浴加算 54円/回

- サービス提供体制強化加算（I）イ 20円/回

- 同一建物居住者の送迎についての減算 △101円

- 介護職員処遇改善加算（I）1ヶ月の総単位数に4.0%を乗じた単位数（利用者毎に異なる）

《事業実施日数》 週 7 日 （12/29～1/3 は除く）

《提供時間》 9：25 ～ 16：25 （半角で入力 例 9：00～15：00）

《職員体制》

通所介護事業・予防通所介護事業・総合事業※職員は兼務

管理者 1名（常勤兼務）

生活相談員 5名（常勤兼務1名 常勤介護職兼務4名）

看護職員 6名（非常勤兼務・機能訓練指導員兼務）

介護職員 16名（常勤兼務11名 うち生活相談員兼務4名 非常勤兼務5名）

調理職員 5名（常勤1名・非常勤4）

運転手 3名（非常勤）

《目標》

住み慣れた地域、自宅で自立した生活を継続できるように、日常機能訓練として、洗濯物や昼食・おやつ作り、裁縫や体操を行いながら、選択レクリエーション等を多く取り入れ、自己選択、自己決定、自己行動ができるようなプログラムの提供を行った。また、地域の核となるケアプラザのデイサービスとして、地域の保育園、小学校・中学校の生徒や活動団体等を積極的に受け入れ、世代を超えた交流を行い、地域貢献ができるように努めた。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

・日常機能訓練を充実させ、在宅に戻った際には役割を持てるような取り組みを多く行い、自主性をもって過ごして頂けた。

・可搬型階段昇降機を導入し、車椅子使用の利用者（エレベーターなしの団地居住）も気軽にデイサービスを利用して頂けるようになった。

《利用者実績（延べ人数）》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
749	835	800	807	827	788
10月	11月	12月	1月	2月	3月
852	792	788	771	748	829

● 介護予防通所介護事業

《提供するサービス内容》

- 送迎・健康チェック・入浴・昼食
- 趣味活動・娯楽・体操・ミニレクレーション・外出機能訓練

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

- 1割負担分
（要支援1） 1,766 円
（要支援2） 3,621 円
- 食費負担 700 円
- サービス提供体制強化加算（I）イ
要支援1：78円 要支援2：155円
- 同一建物居住者の送迎についての減算
要支援1：△403円 要支援2：△807円
- 介護職員処遇改善加算（I）
1ヶ月の総単位数に4.0%を乗じた単位数（利用者毎に異なる）

《事業実施日数》 週 7 日 （12/29～1/3は除く）

《提供時間》 10：30～15：00 （半角で入力 例9：00～15：00）

《職員体制》

通所介護事業・予防通所介護事業・総合事業※職員は兼務

管理者 1名（常勤兼務）
生活相談員 5名（常勤兼務1名 常勤介護職兼務4名）
看護職員 6名（非常勤兼務・機能訓練指導員兼務）
介護職員 16名（常勤兼務11名 うち生活相談員兼務4名 非常勤兼務5名）
調理職員 5名（常勤1名・非常勤4）
運転手 3名（非常勤）

《目標》

在宅での自立した生活をより充実したものにしていく為に、運動器機能向上プログラム（加算は算定せず）や個別レクリエーション、日常生活機能維持に向けた取り組み（調理や洗濯物、裁縫等）を行い、心身機能の維持・向上に努めた。

《その他（特徴的な取組、PR等）

生活機能維持に向けたプログラムでは、洗濯物等の基本的なことから、調理等ではうどん作り等、工程を考えて実施するものまで、幅広く自宅での生活を意識した取り組みを実施した。

《利用者実績（契約者数）》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
90	83	81	83	67	87
10月	11月	12月	1月	2月	3月
72	71	63	60	54	73

平成28年度 地域ケアプラザ収支報告書

施設名：横浜市原宿地域ケアプラザ

平成28年4月1日～平成29年3月31日
(単位：千円)

	科目	地域活動交流	地域包括支援センター			居宅介護支援	通所介護	予防通所介護 ・ 第1号通所介護	生活支援体制 整備事業
			包括的支援	介護予防事業	介護予防支援				
収入	指定管理料等収入	13,937	31,550	114					3,957
	介護保険事業収入				7,623	15,703	112,608	1,894	
	その他	4,264	16,630	13	0	2,970	8,276	3,187	0
	介護予防ケアマネジメント費		6,615			1,541		3,187	
	受託事業収入・その他	274				1,429	1,240		
	施設使用料相当額	3,990							
	経理区分間繰入金		2,500				1,500		
	積立資産取崩収入		3,110				5,536		
	退職給付引当資産 返還差額収入		4,403						
	ケアマネット戸塚役 員年会費返金		2						
介護予防普及強化 事業参加者負担金				13					
収入合計(A)	18,201	48,180	127	7,623	18,673	120,884	5,081	3,957	
支出	人件費	10,744	31,146			19,999	85,971		3,828
	事務費	1,871	13,875			1,617	10,343		
	事業費	40	20			94	15,375		290
	管理費	5,041	1,349						
	その他	257	8,100	141	0	0	10,938	0	0
	受託事業支出	257							
	介護予防事業経費			141					
	退職給付支出		8,100						
	利用者等外給食費他						1,129		
	施設使用料相当額						3,990		
施設整備等						5,819			
支出合計(B)	17,953	54,490	141	0	21,710	122,627	0	4,118	
収支 (A)－(B)	248	-6,310	-14	7,623	-3,037	-1,743	5,081	-161	

平成28年度 自主事業収支報告書

事業名	①主な対象者	自 主 事 業 決 算 額					
	②延べ参加者	総経費	収入		支出		
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	講師謝金	材料費	その他
楽しくトレーニングしよう会	高齢者	18,720	12,000	6,720	12,000		6,720
	20人						
	100						
高齢者体操教室継続支援 (計12回)	高齢者	86,869	86,869		86,869		
	20人						
	0						
GOGO健康講座 (計8回)	高齢者	70,682	70,682		70,682		
	40人						
	0						
認知症予防講座 音楽療法	高齢者	12,000	12,000		12,000		
	40人						
	0						
		188,271					

平成28年度 自主事業収支報告書

事業名	①主な対象者	自 主 事 業 決 算 額					
	②延べ参加者	総経費	収入		支出		
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	講師謝金	材料費	その他
平成28年度第1回 生活支援交流会・居宅介護 事業所連絡会(協議体)	地域活動団体他	2,000		2,000			2,000
	22名						
	0						
音楽を楽しもう ～音楽療法～	地域住民他	8,000		8,000		8,000	
	24名						
	0						
平成28年度第2回 生活支援交流会・ 居宅介護事業所連絡会	地域活動団体他	3,300		3,300			3,300
	11名						
	0						
		13,300					

横浜市原宿地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
主催 傾聴ボランティア養成講座	地域住民対象 高齢者等の重層的な見守りを図るため、個人宅や施設訪問を目的とした傾聴ボランティア養成講座を実施し、今年度は24名の参加があった。カリキュラムに認知症サポーター養成講座を組み入れ「認知症の理解」の普及も行った。メンバーの一部は、傾聴ボランティア虹に参加され、傾聴活動につながった。	5回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
主催 あったまり場	こころの病のある方、家族、地域住民対象 第4月曜日実施。今年度から午前のプログラムは中止し、午後は懇談、デザート作りなどを実施した。	12回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
主催 ひだまり	高校生以上の障害のある人、保護者、ボランティア対象 第2日曜日実施。午前中は調理・会食。午後は工作、外出等。今年度は活動の自主運営化に向けた働きかけを行い、自主活動グループの登録となった。調理の買い物や午後のプログラムも参加者全員で行うこととなったため、次年度以降ケアプラザとしてはボランティアの募集を引き続き実施する。	9回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
主催 障害学習会 「地域であたり前に豊かに暮らしていくために」	障害のある子どもを持つ保護者、家族会等 第4木曜日実施。ぐるーぷちえのわ共催。思春期の性、移動情報支援などのサービス情報の提供を実施。同時に障害のある子どもの地域の居場所作りの取り組みが始まった。	5回

横浜市原宿地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
主催 傾聴ボランティア養成講座	地域住民対象 高齢者等の重層的な見守りを図るため、個人宅や施設訪問を目的とした傾聴ボランティア養成講座を実施し、今年度は24名の参加があった。カリキュラムに認知症サポーター養成講座を組み入れ「認知症の理解」の普及も行った。メンバーの一部は、傾聴ボランティア虹に参加され、傾聴活動につながった。	5回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
主催 あったまり場	こころの病のある方、家族、地域住民対象 第4月曜日実施。今年度から午前のプログラムは中止し、午後は懇談、デザート作りなどを実施した。	12回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
主催 ひだまり	高校生以上の障害のある人、保護者、ボランティア対象 第2日曜日実施。午前中は調理・会食。午後は工作、外出等。今年度は活動の自主運営化に向けた働きかけを行い、自主活動グループの登録となった。調理の買い物や午後のプログラムも参加者全員で行うこととなったため、次年度以降ケアプラザとしてはボランティアの募集を引き続き実施する。	9回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
主催 障害学習会 「地域であたり前に豊かに暮らしていくために」	障害のある子どもを持つ保護者、家族会等 第4木曜日実施。ぐるーぷちえのわ共催。思春期の性、移動情報支援などのサービス情報の提供を実施。同時に障害のある子どもの地域の居場所作りの取り組みが始まった。	5回

横浜市原宿地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
主催 子育て連絡会	<p>保育園、主任児童委員、子育て支援拠点、区役所、子育てサークル、子育て支援者、高齢者施設等対象</p> <p>今年度は3回の子育て連絡会を実施した。ダブルケアの周知を目的に、地域に向けた「キッズスペース」の提供をしている高齢者施設を会場に地域の課題の共有、子育て支援活動団体同時の協働企画の実施、年間スケジュールを可視化し共有を図った。</p>	3回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
主催 第7回原宿チャリティイベント	<p>地域住民対象</p> <p>継続的な東北の産業復興支援と、災害時や地域の見守りを目的とした日頃の大正地区の住民同士のつながりの場作りを目的に開催。準備会では、参加協力団体同士で企画会議を実施した。当日はケアプラザ利用団体の活動発表や、東北物産展、バザー、アプリ投稿体験などを実施。ボランティア、参加者含めて約350名の来館があった。バザー等の売り上げは岩手県陸前高田市のNPO団体、熊本YMCAに寄付した。</p>	3月4日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
共催 ボランティア総会	<p>聖母の園、原宿ケアプラザで活動するボランティア対象</p> <p>ボランティア同士の交流を目的に情報交換、交流会を実施。</p>	4月

事業名	目的・内容	実施時期・回数
熊本チャリティイベント	<p>4月の熊本九州の震災復興支援</p> <p>バザー、クラフト、シャボン玉ショー、木工ワークショップなど。ショータイムでは熊本の被災地に復興支援ボランティアに行かれた方から現地の様子など写真を交えてお話頂いた。また活動では大正中学校の生徒さんのボランティア受け入れを行った。バザー等の売り上げは熊本YMCAに寄付させて頂いた。</p>	8月

横浜市原宿地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
オレンジサポーターワークショップ	認知症とともにより良く生きることが出来る地域作り 初回は大正地区の高齢化率や介護保険申請の基礎疾患事由などをデータビジュアルライズして現状を示し、「旅のこぼし」カードを使ったワークショップを実施した。2回目は家族会を中心に、ケアラーを支えることを重視した意見交換を実施し、次年度は認知症の介護のコツについて意見交換を行う。	12月、2月

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ボランティアバンクえん 車いす講座	地域ボランティアの活動の支援として車いすの操作法を正しく理解していただく ツクイ横浜東俣野様、その他近隣事業所の方から車いすの基本的な操作方法や車いすの種類についてお話し頂き、屋外で車いす操作の実習を行った	7月

事業名	目的・内容	実施時期・回数
原宿フリーマーケット	原宿商店街主催のフリーマーケット。多世代の交流と地域の活性化 フリーマーケットのイベントコーナー出演団体の調整、キッズコーナーの遊具その他会場の物品借用について調整。障害者施設の物販、福祉用具体験、中学校のボランティア調整なども実施。	6月、10月

事業名	目的・内容	実施時期・回数
「子どもたちの豊かな暮らしのために」講演会	経済的社会的に貧困状態にある子どもをめぐる家庭や社会的な背景について理解し、地域で出来る子どもの見守りや支援について考える NPO法人パノラマの石井代表を講師に現在取り組んでいる子どもの孤立の早期支援や自立に向けた就労支援についての報告。多問題家庭の事例の検討を実施	11月

横浜市原宿地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
大正プロジェクト	<p>近隣小学校の個別支援級に在籍する子どもたちの放課後の活動支援と地域住民に向けた障害の理解や住民同士の交流</p> <p>スポーツインストラクターの講師、地域ボランティアの協力のもと、エアロビ、風船バレー、けん玉などのプログラムを実施</p>	3月

事業名	目的・内容	実施時期・回数

事業名	目的・内容	実施時期・回数

事業名	目的・内容	実施時期・回数

平成28年度 自主事業報告書

横浜市原宿地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
介護予防普及強化業務委託 「GOGO健康講座」	地域への介護予防普及啓発を目的として「ロコモ予防」「栄養バランスについて」「認知症の理解と予防」「口腔機能向上」の講座を2回ずつ計8回開催をした。	5月30日 6月6日 6月13日 6月30日 9月1日 9月5日 9月12日 9月29日 計8回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
共催事業 「楽しく脳と身体をトレーニングしよう会」	保健活動推進員と共催で、脳トレーニングと体操（ハマトレ、はまちゃん体操）を地域の高齢者に向けて毎月1回開催をした。体操講師としてはまちゃん体操普及員とハマトレリーダー養成講座終了者に指導をして頂いた。	毎月1回（第4日曜日） *12月と3月（第3日曜日） 計12回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
自主事業 「音楽で認知症予防」	認知症予防を目的として音楽療法士を講師に迎え、回想法を用いながら、懐かしい音楽に合わせて、歌やリズムを奏でる講座を開催した。	11月27日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
自主事業 ミニ健康講座	疾病予防と早期発見を目的として、原宿ケアプラザの協力医による講座を全10回開催をした。内容（胃潰瘍、大腸がん、肝炎、熱中症、心筋梗塞、肺気腫、脳梗塞、肺炎、糖尿病、認知症）	1月と5月を除く 第一水曜日 計10回

平成28年度 自主事業報告書

横浜市原宿地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
介護予防普及強化業務委託 元気づくりステーション「こすずめ健康ライフ」	元気づくりステーションとして、小雀町での自主活動が継続できるよう、区役所と協働し継続を支援した。内容は健康体操と認知症予防ゲームや音楽療法。	毎月2回 (第2、第4月曜日)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
介護予防普及強化業務委託 さざん花の会	東俣野、影取地区に平成27年に立ちあがった介護予防自主活動グループに対して、活動継続のための支援を行った。	毎月2回 (第2火曜日)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
介護予防普及強化業務委託 体操教室OB会支援	毎週、介護予防活動（ADL体操）を行っている4グループに対して、ADL体操上級指導者から体操の実技や日常生活に於ける身体の動かし方の基本等についての講座をして頂いた。	4グループに対して それぞれ年3回

事業名	目的・内容	実施時期・回数

平成28年度 自主事業報告書

横浜市原宿地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
介護リハビリ研究会開催後方支援	4月9日 16名参加 講師 内海氏 地域課題について 5月14日 33名 包括 地域ケア会議について 6月18日 40名 事例発表会 7月9日 20名 発表会振り返り 9月17日 33名 石川歯科医師 多職種連携の推進 10月8日 23名 前頭葉認知症の理解 11月12日 25名 認知症について 12月10日 14名 ユマニチュードの理解 2月18日 24名 認知症の人の気持ち 3月11日 18名 渡邊歯科医師 研修会開催の通知FAX、会場設営、資料印刷等	毎月開催（8月と1月を除く）

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ケアマネット戸塚 後方支援 戸塚区主任cm連絡会事業	定例会の開催において、戸塚区のケアマネジャーの専門性の向上と医療機関を含む多職種との連携の推進に向けた支援を行った。 ・幹事会や今年度から始まったプロジェクトチームでは、研修会の企画会議で情報提供や担当幹事の求めに応じた助言をお行った。 ・研修会開催申し込みのファクシミリ受付先として各ケアプラザが輪番して対応をした。 ・申し込み者の集計、当日の研修受付用のリストの作成と提供。 ・研修の次第、リアクションシートを含む研修会用資料の印刷。 ・11月の地域包括主任ケアマネジャー主催研修を行い、医療機関の退院調整看護師やMSWなどとの連携推進のための研修を行った。	8月と12月を除き、10回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ほーめっと 後方支援 戸塚区主任cm連絡会事業	年16回の定例幹事会を開催し、定例会に向けての内容や役割分担等の検討・準備・実施後の振り返りを行った。多職種連携を目的とした定例会では、診療報酬や、便秘について、KITメソットを活用したグループワークとその見直し会など年4回開催し、市民向け講座として、見取りと、在宅医療について計2回行った。また、本年度より戸塚区在宅医療連携拠点も会に参加し、地域に対しての在宅医療のアピールなども行った。	6回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
新任・就労予定ケアマネジャー研修 戸塚区主任cm連絡会事業	事前に居宅主任ケアマネジャーとの企画検討会を開催。検討会の意見を踏まえ、研修内容を決定。テーマは①初回訪問・アセスメントの取り方、②担当者会議の調整から本番まで、③医療との連携（退院調整・主治医）とした。包括主任CMによる寸劇（悪い例）と事前に集約した①～③の「居宅主任CM失敗談集」を踏まえて、居宅主任CMと新任CMによるグループワークを行い、学びを深める。また、新任・就労予定ケアマネジャーが気軽に相談できる先輩・同輩のネットワークづくりを行った。	7月

平成28年度 自主事業報告書

横浜市原宿地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
医療連携研修 戸塚区主任cm連 絡会事業	戸塚区内、近隣の病院退院調整看護師、MSW、居宅ケアマネジャーが一堂に会し、病院の機能と役割、ケアマネジャーの役割についての講義を行った。その後、10グループに分かれ、①入院直後から入院療養中の連携②退院から在宅療養中の連携について意見交換し、それぞれの立場の理解とともに、直接話をするすることで、よりよい連携につながった。	11月

事業名	目的・内容	実施時期・回数
居宅主マネ研修 戸塚区主任cm連 絡会事業	戸塚区内の居宅支援事業所の主任ケアマネジャー対象に事業所内のケアマネジャーへの支援について」の勉強会として「部下・後輩の気づきを与えられる対人援助（コーチング）スキルについてとして川崎幸クリニック心理相談室室長臨床心理士稲富正春氏をお招きした。業務の中で部下後輩へのかかわりについて日頃の自らのアドバイスを振り返り今後の指導に役立たせることができる理論と手法を学ぶ機会となった。	2月

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ヘルパネット 後方支援 戸塚区主任cm連 絡会事業	年12回の定例幹事会を開催し、総会を含め年6回の研修を行なった。5月の総会基調講演は地域包括ケアシステムについてご講義頂いた。9月は在宅介護の現場におけるグレーゾーンについて、10月は訪問医師による在宅介護の医療知識、11月は訪問看護師より異常の早期発見についての講義研修を行なった。2月の介護技術研修では排泄介助を中心に実技演習を行なった。3月は横浜市議会議員2名にお越し頂き、訪問介護の現場の現状報告や意見交換を行なった。	12回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
居宅介護支援事 業所連絡会	地域の社会資源について、また地域ケア会議で把握した地域課題について、俣野ネオポリスにある「かわせみ」、大正団地にある自治会館に専門職、ケアプラザ職員、行政、地元住民団体が集まり、情報共有をして、ネットワークの構築とケアプランにおいて社会資源の活用を促した。	2回

平成28年度 自主事業報告書

横浜市原宿地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
備えて安心 やさしい相続教室	司法書士を講師に招き、地域住民を対象に国が用意している制度や法律を理解してもらい、これからの人生を安心して送るための準備を促すことを目的にセミナーおよび相談会を開催した。具体的には遺言書の作成や任意後見の利用方法など、事前に準備ができることについて周知を図った。 また残念ながら認知症などにより判断力が低下してしまった場合の対策として、法定後見制度についても周知を図った。 町内の住民21名が参加。そのうち3名が個別相談を受けた。	10月6日・1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
老後のマネープラン	介護者の会「よつばの会」の参加者より、老後に破産するという社会問題がクローズアップされたことから、この問題について不安の声が上がった。 このような問題に取り組んでいる団体代表を講師に招き、老後破産を防ぐためにできること、老後にどの程度の費用が掛かるかなど、いざという時に困らない対策についてノウハウを学んでもらった。	10月28日・1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
成年後見制度の重要性について	「よつばの会」の定例会で、今年度の支援困難ケースの一例として、成年後見制度の申立ての前にキーパーソンが亡くなってしまった事例を紹介した。残された家族に判断力の低下が認められることから、今後の支援に困難が予想されること、このようなことに備え成年後見制度の申立ては、早目に行うことが大切であることを包括職員から説明した。	3月24日・1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数

平成28年度 自主事業報告書

横浜市原宿地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
よこはまシニアボランティア登録研修会	元気な高齢者が地域の介護施設等でボランティア活動を行うことにより、ご本人の健康維持と介護予防、社会参加・地域貢献を通じた「生きがいづくり」を促進するとともに、これからの介護施設等の地域とのつながりの深まりや施設利用者の生活をより豊かにすること。登録研修会を行うとともに、近隣の高齢者ボランティアの受入施設の職員にも参加をして頂き、施設や具体的なボランティア活動について紹介してもらい、より身近に感じてもらえる働きかけを行った。(合計参加者68名・シニアボランティアポイント新規受入施設5施設)	9月26日 11月14日 3月12日 3月13日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
平成28年度第1回生活支援体制整備事業協議体	意見交換等を通して「ネットワークの構築」と「地域づくりにおける意識の統一」を行い、取り組むことができていない部分へ気づくこと。 【協議体】 ①生活支援体制整備事業についての説明・周知 ②地域ケアプラザと生活支援体制整備事業について ③意見交換 後半の地域ケア会議にてグループワークを実施	1月26日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
平成28年度第1回生活支援交流会・居宅介護事業所連絡会(協議体)	活動・サービスの創出・継続・発展させるための具体的な企画立案、多様な主体間のネットワーク構築、地域づくりにおける意識の統一 ①インフォーマルサービスの活動紹介 ②グループワーク 【現在・これからも必要な支援(足りない支援・介護予防で有効なもの等)】【認知症と思われる方へのアプローチの仕方(受診・介護保険申請・サービスへどのようにつなげるか)】(場所=コミュニティサロンかわせみ)	2月16日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
音楽を楽しもう～音楽療法～	介護予防と地域サロンの活性化 音楽療法の講師を招き、すりこ木棒を使っての歌、認知機能・身体機能・精神機能・口腔機能に働きかけるプログラム、コグニサイズを音楽で楽しく行う。(場所=D a yふかや)	3月12日

平成28年度 自主事業報告書

横浜市原宿地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
高齢者ボランティア受入施設連絡会	高齢者施設等でのボランティア活動・イベントの情報共有と地域における公益的な取組 各施設の地域向けイベント情報の共有、シニアボランティア登録研修会終了者の施設見学会を行うにあたっての意見交換	3月13日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
平成28年度第2回生活支援交流会・居宅介護事業所連絡会	地域の実情に応じた住民等の様々な主体による多様な支援を可能な限り活用し、地域の支え合いの体制作りの推進。インフォーマルサービスを予防プランに取り入れられるような情報提供を行う。 地域サロンの見学会。（大正団地サロンまんまる）生活支援体制整備事業の説明。インフォーマルサービスの紹介。	3月14日

事業名	目的・内容	実施時期・回数

事業名	目的・内容	実施時期・回数